

令和6年度 第4回 舞阪中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年2月18日（火） 14時00から15時30分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 旧パソコン室
- 3 出席委員 渡邊 東一、鈴木 孝一、江間 雅尾、河合 敷馬、片桐 美恵子、小内 正枝、佐々木雄一
- 4 欠席委員 菅沼 洋美
- 5 オブザーバー 河合 一徳（舞阪支所副支所長）、山下利恵
- 6 学 校 中村 真由美（校長）、松下 宏幸（教頭）、鈴木 朱美（教務主任）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田岡 忍

9 議長の選出

前回会議（第3回）の経緯より、小内委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価・いじめ防止基本方針への取組について
- （2）来年度の学校運営の基本方針について
- （3）学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の松下教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）今年度の学校関係者評価、いじめ防止基本方針への取組について

鈴木教務主任から、次の説明があった。

- ・生徒・保護者・職員の三者を対象に自己評価アンケートを実施。その結果を本校の重点4項目別に考察し、それぞれ次年度へ向けた改善の方策を提示した。
- ・いじめ防止基本方針への取組内容と成果、今後の改善方策を提示した。

議長から、学校の自己評価やいじめ防止基本方針への取組について、各委員に気づいたことを挙げるよう提案があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・私は舞阪が好きだという生徒が多い結果で嬉しいが、将来誇りを持って地元で生きていく為にはどうしたらよいか、地域で考える必要があると思う。（鈴木委員）
- ・浜松市の不登校の割合や、どんな理由でおきていることなのか現状を知りたい。（鈴木委員）
- ・2年生の立志の決意はどの生徒も立派に書けていたが、書いた後のフォローが大事ではないのか。（河合委員）
 - 生き方マップを作成し互いに発表し合う時間を設けている。（鈴木教務主任）
 - キャリアパスポートで教師がコメントを入れ、その後を見守っている。（校長）
- ・防災訓練では、生徒の参加が多く、炊き出しの手伝いなど一生懸命やってくれた。今後も継続していくことが大切である。（河合委員）

- ・いじめはどんな理由であってもしてはいけないという生徒の声は嬉しかった。いじめているつもりはないが、相手がいじめと捉えているギャップが難しい問題である。(片桐委員)
- ・地域の事が好きな生徒が多くて嬉しいが、お祭りなどの素晴らしい地域行事をもっと知って、中学生も興味・関心を持ってほしい。(片桐委員)
- ・舞阪は素晴らしい独特な文化があって、地域に誇りを持っている生徒や地域住民が多くて嬉しく思うが、近年漁業の廃業が増加傾向にあり、後継者がいなくて困っている。今後の将来を考え、漁業組合と協力して、中学生に地域を感じることや心に残る体験を考えていきたいと思う。(佐々木委員)
- ・タブレット学習の取組や改善はいいと思う。今後も続けてほしい。(渡邊委員)
- ・不登校の生徒は十人十色で、たくさんの受け口があってもなかなか解決しないのは難しい問題である。(江間委員)

(2) 来年度の学校運営の基本方針について

中村校長から、来年度の学校運営の基本方針について説明があった。委員からの説明は以下の通りであった。

- ・地域の食材を使って料理をし、次世代へと繋げていくことが大切である。【お日待ち御膳】の方達と交流をして、保護者で引き継ぐ人材を紹介したい。(佐々木委員)
- ・保護者の皆さんも含め、地域と繋がっていくことが大切である。輪を作る為に、きっかけ作りを考えていきたい。(鈴木委員)

協議の結果、中村校長の学校運営基本方針は、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

松下教頭から、今年度の学校運営協議会の自己評価について説明があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・部活動地域移行について、地域住民に呼び掛けをする為に、ガイドラインをもう少し早く出してほしい。(鈴木委員)
- ・『しおなり』のお便りは、地域と学校のつながりをよく考えてくれていてありがたい。発信を通じて、知ってもらえるいい機会になっている。(鈴木委員)
- ・他の中学校で、制服のリユースやリサイクルを実施している。本校でも実施してほしいとの意見がある。(江間委員)
- ・地域産業として、牡蠣剥きやしらす漁の話聞くだけではなく、実際に見たり体験したりすることはいい経験になると思う。(江間委員)
- ・埼玉県の岸小学校は、年に1回地域の方と協力して、防災訓練を行っている。細々でも、継続していくことが大切である。(小内委員)

その他報告事項等

松下教頭から、以下の説明があった。

- ・夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書にもとづき、実施した活動についての報

告があった。

- ・ 来年度の学校運営協議会開催計画（案）として説明があったが、第1回の協議会は委員の過半数の出席が見込めないため、日を改めて実施するとの報告であった。会議は、年4回開催予定である。
- ・ 第1回議長の選出について、片桐委員が佐々木委員を推薦する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。